

2023年度（2024年3月）グローバル教養型 タイ王国：グローバル産業人材育成プログラム -国立タマサート大学短期留学-

◆参加募集説明会◆
11月28日（火）12:05-12:45
学生交流センター1F
プロジェクトラーニングスペース

タイ王国の文化や社会背景を、タイでトップレベルの名門、国立タマサート大学にて学びます。
同大学の学生とともに、フィールドワークや交流も行います。英語に自信がなくても大丈夫！

- 対象学部・研究科：全ての学部・研究科を対象
- 実施期間：2024年2月28日（水）～3月13日（水）（航空券日程から1～2日程度の変更あり）
- 活動場所：王都バンコク、および隣県チョンブリー県（ランシット・キャンパス）等
- 活動内容：文化交流・産業調査活動が中心、大学指定のグループで活動場所を決定
- 募集人数：10～25名（予定） ※ 本学教員が現地にて引率
- 宿泊：タマサート大学ランシットキャンパス内（大学内ホテルまたは寮）
- 参加費：10万円程度・・・航空券別途、奨学金JASSO7万円、福井大6万円支給対象（条件有）
- 応募締切：2023年12月8日（金）17時厳守
- 問合せ先：国際課 0776-27-8404/ studyabroad@ml.u-fukui.ac.jp

これまでの実施の様子（過去8回計171名が参加！）



これまで味の素、日野自動車、
トヨタ自動車等の日系工場、
組み立て工場を視察！



企業訪問でタイを知る！

都市部から郊外までタイの魅力満載！



こんな大都会を日本でみることができる？



これまでに参加した学生の声（気づき）の抜粋

1. 産業対応力

「タイの中に日本の商品や文化が振付いていることに驚いた。タイ人に日本のアニメやポカロイドを教えてもらうこともあった。」
「街中には日本の車がたくさん走っていて、日本企業の広告がありふれていた。タイの経済は日本と深く関わっていると思った」
「先生の言っていた通り、メモ帳片手に値引き交渉をした。210Bの帽子だったので100Bからスタート。何度もやり取りを経て170と書く。苦笑してOKと言ってくれた。交渉が経済を動かすのをわが身に感じた瞬間だった。」

「日本人としての知識不足や、自国を愛することが足りていないと実感したし、ジェンダーについての考え方も変わった。いかに自分の考え方が狭いのかを痛感したが、このプログラムをきっかけに、私の中でたくさんの変化が生まれた良い機会であった。」

「今回の留学を通して「文化の違い」、「食の違い」、「インフラの違い」といったようなタイと日本の様々な違いに触れることができた。タイ人の友人もできたし自分は満足な留学になったといえる。今後もこういった経験をするために自ら機会を探し出して積極的に飛び込んでいこうと思う。」

2. グローバル対応力

「自分でも驚くべきことに、2週間のプログラム中1度も帰りたいと思わなかった。一日一日が充実していて、自分の英語力やコミュニケーション力が試されていると思いながら自分のベストを尽くすことができ、自信にも繋がった。しかし、それは細やかな気遣いをしてくださったスタッフの方々や、自分の勉強でも忙しい中いつでも楽しく過ごさせてくれたタマサート大学の学生たちのおかげであることを忘れてはなりません。本道に貴重でこれからも忘れられない素晴らしい2週間でした。」

「自分はインドアで、あまり外で活動をしたが、今までの自分ではしないようなタイの留学をしてみても楽しかったです。自分の中にある、自分の固定観念とは違うことをするのはいいことだと思いました。」

「マーケットでカオマンガイを売るおじさん。いかにも偽物の時計を売る若い子。停車中の車まで駆け寄って花を売るおばちゃん。全ての人がモノが生き生きといて愛していた。みんな生きるのに何らかの工夫をしていた。creativityにあふれていると感じた。私はこういうタイの雰囲気が好きである。タイの一面を実感するのにこのプログラムはうってつけだったと思う。」

「英語で意思疎通ができたことに感動した。これまで生きて初めて英語の大切さと便利さを感じた。自分にとってはすごく大きいことだった。」

「日本では考えられないような光景が目の前に広がっていました。僕らの周りには全員タイ人という別の世界に舞い降りたかのようでした。そんな中で過ごした2週間は人間として成長できました。」

「とても貴重な2週間でした。多くの人と出会いお話をし、いろんなところに行きました。初めてのことでドキドキワクワクでした。日本と違うんだこれは体験が多くとても充実しており、たのしかったあああああの一言です。日本はもちろん好きだけど、タイも好きになりました。」

3. その他感想など

「刺激的な体験が沢山できた2週間で、最高に楽しかったです。」
「新しいことを知りたいという好奇心は幼稚園の頃から忘れなかった。あの頃の楽しさにもう一度触れることができた。この体験は私の人生に必要であった。」
「タイでの出来事全てが勉強になりました。タイ人の考え方は竹本教授のおっしゃられた通り日本人のそれとはかなり違っていたことが多かった。物事に対する考え方が根本的に変わりました。」

「今まで普通に生活していたら気づかなかった多くの新しいことを発見でき、自分の殻を破ることができた。」

「同じプログラムに参加した他学年、他学部の福井大学生とも仲良くなったことがほんとうに良かった。様々な人との交流を通して、新たな知識や他人の考え方、自分では気づかない自分の一面などを学ぶことができた。」

「またタイに行きたい！」（いつも多数）